

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			お子様の特性や、その日に行う活動に配慮し、活動の場を設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置基準に則った配置数になっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段に手すりはあるが、小さいお子様には階段の段差が高い。事業所内は段差をなくし怪我や事故の発生リスクを抑えている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的なミーティングで児童の情報共有を行い、支援の振り返りや見直しを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを行い、寄せられた意見等を全体で共有し、事業所運営及び環境の改善に役立っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年 1 回ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の評価は現在行われていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			連携機関である発達支援研究所が主催している定例研修に参加し、資質向上を図っている。また、石川県や金沢市主催の研修にも参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用開始前に行うアセスメントで得たお子様の特性等の情報や、相談員からの意見を基に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			会社で指定されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にミーティングを開き、全職員で計画の立案・見直しを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子様の状態や特性によって柔軟にプログラムを変更するなどして対応している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		1 日 1 時間の療育のためプログラムを大きく変更することは無いが、お子様のその日の状態に合わせて、適宜変更することもある。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育の他に、小集団イベントにも注力して、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々職員間で支援配置や活動プログラムについて情報共有を行い、支援に臨んでいる。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後に児発管が担当指導員から報告を受けたり、終礼時に連絡事項として情報共有を行ったりするなど、全職員がお子様の情報を把握できるよう努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回支援の記録を取り、支援の検証や改善に取り組んでいる。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、お子様の状況に合わせた支援計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			保護者様とお子様のニーズに合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が会議へ出席しているが、場合によっては、担当指導員がその場に参加することもある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者の方からのご要望があった際は、必要に応じて行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者様からの要望や、お子様の特性等を鑑みて、必要に応じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談員を介して支援内容等を他障害福祉サービス事業所と共有している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要な情報の共有や助言を受け、連携を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	小集団イベントにて他利用者様の兄弟（姉妹）児と関わる機会はあるが、児童館等他機関と交流する機会は持っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			開催されれば、参加したい。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後に情報共有の時間をしっかりと確保することで、保護者様もお子様の課題について相談することが出来ている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ご家族の相談に乗ることはあるものの、ペアレントトレーニングという支援までは行っていない。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適宜、相談に応じており、必要に応じて助言を行っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	回数は少ないものの、ママカフェを開き保護者様同士で日々の悩みや今後の進路などについて交流の場を提供している。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等があれば迅速に対応している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログに小集団イベントの様子を掲載したり、防災訓練の様子や毎月のお知らせを掲載したりしている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書庫に個人情報を保管している。また、外部に情報を提供する際は、保護者様に同意書を頂いている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的ツールを用いる等、お子様や保護者様、一人ひとりに合わせて対応している。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルがあり、職員に周知をしている。また、感染症拡大防止策に関する掲示も行っている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震や火災等、非常災害に備えた訓練を定期的に行っている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回以上の研修を行っている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時の資料に身体拘束について明記すると共に、個別支援計画にも記載している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	支援中に食事をとる機会はないが、アレルギーに関する内容は利用開始前のアセスメントでお聞きしている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集等を作成し、職員に周知し、再発防止を図っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校 保護者等数（児童数）：44 回収数： 25 割合： 56 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	5		ラダー等簡単な活動ができるよう、もっと広くてもよいのでは。 →ご意見を頂きありがとうございます。現状、すぐに場所を広くする事は難しいですが、フロアを利用する際に時間や人数を決めて使うなど、少しでも広く安全に使えるよう、今後も配慮を続けていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	3		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	9	4	仕方がない事ですが、階段が狭いです。 →ご意見を頂きありがとうございます。階段につきましては、手すりや滑り止めを設置するなど、安全対策をさせて頂いております。加えて、お出迎えやお見送りなどの際に、職員が安全確認を行っております。今後も、安全への配慮を続けていきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	25			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	22	3		その時の状況に合わせて無理のない範囲でやっていると思う。 →ありがとうございます。今後もお子様の状況に応じた支援を提供できるよう努めてまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	12	7	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1		毎回、様子を細かく伝えて頂けるのでよい。 →ありがとうございます。しっかりとした情報提供を行っていくことが、お子様の成長にとって大切な事から、今後も継続して取り組んでいきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	10	2	機会があれば、またママカフェを開催してほしい。 →ありがとうございます。保護者の方のニーズに応じたテーマを考え、コロナ収束後、今後も取り組んでいきます。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	6		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	7		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	5		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	6		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	6		自分の子どもは参加したことがないため、実際に非常時に避難できるか不安です。 →まだ訓練の参加経験のない方が参加できるよう計画的に訓練を行っていきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3		子どものルーティンにしっかり組み込まれています。 →ありがとうございます。今後も一人でも多くの方に通所を楽しみにして頂ける様、努めていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	2		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。